（様式1）

施設指定管理者モニタリングチェックシート

施　設　名	**豊明市西部児童館**
指定管理者名	株式会社日本保育サービス
指　定　期　間	令和7年　4月　1日　～　令和12年　3月　31日
所　管　課	子育て支援課

区分	項　　目	令和7年度　前半期（4～9月期）				令和7年度　後半期（10～3月期）			
		指定管理者	指定管理者　備考	市	市　備考	指定管理者	指定管理者　備考	市	市　備考
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】								
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	仕様書に基づき遵守している	A		A	仕様書に基づき遵守している	A	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A	同上	A		A	同上	S	各種ルールを踏まえ、安全面に配慮した施設運営が行われている
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A	常時2名体制としている。	A		A	常時2名体制としている。	S	市内5館の連携を活かし、施設間で職員を相互支援する体制により安定した運営を実現している
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		A		A	必要な職員配置のもと、適切な施設運営が行われている
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A	その日の出来事や来館者の様子について適切に記録している。	A		A	その日の出来事や来館者の様子について適切に記録している。	A	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A	非常時も全職員が同様の対応ができるようマニュアルを常備している。	A		A	非常時も全職員が同様の対応ができるようマニュアルを常備している。	A	安全管理を意識した運営が行われ、緊急時対応にも備えている
	【利用者に関する業務】								
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		B	前年度比▲29.1%（全館平均では＋20.5%）児童クラブも減となった	A		B	前年度比▲31.4%（全館平均＋2%）
	中高生の利用確保に向けた取組がなされているか	A		A		A		A	
	【保守点検並びに清掃業務等】								
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	仕様書に沿い、適切に行っている。	A		A	仕様書に沿い、適切に行っている。	A	
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	職員による日常清掃に加え必要に応じ除草・剪定作業を行っている。	A		A	職員による日常清掃に加え必要に応じ除草・剪定作業を行っている。	A	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	速やかに相談・報告をしている。	A		A	速やかに相談・報告をしている。	A	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	館内掲示及び声掛けで周知を行っている。	A		A	館内掲示及び声掛けで周知を行っている。	S	ボルダリングの安全な利用に向け、適切な運営に努めている
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等は行われているか	A	毎月、管理会社JMに必要に応じて相談している。	A		S	館庭の土が少なくなっていたためJMに手配し補充	A	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		A	本部にて修繕履歴の管理をしている。	A	
	備品は適切に管理しているか	A		A		A		S	ボルダリング設備を適切に管理し、安全な利用環境を維持している
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		A		A	
	【事業の実施に関する業務】								
	指定事業は適切に実施されたか	A	仕様書に記載の指定事業を適切に実施した。	A		A	仕様書に記載の指定事業を適切に実施した。	A	親子教室やこども会議等を実施し、事業の充実を図っている。
	自主事業は適切に実施されたか	A	STEAMS「水の中でシャボン玉を作ろう」を実施し子ども達の興味関心を引き出すことができた。	S	STEAMS「水の中でシャボン玉を作ろう」を実施した	A	アイロンコースターづくりなど工夫を凝らした各種工作行事をおこなった。	S	利用者ニーズを踏まえた幼児リトミックを実施している
	【個人情報の取り扱い】								
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		A		A	
	【①に係る指定管理者の自己評価】	仕様書上の配置を遵守しながら適切に運営を行うことができた。 前事業者からの継続雇用で館長となった職員も徐々に業務に慣れ、施設管理をおこなえるようになった。 利用者数は上期で1897人となっている。児童クラブがあることから利用者数が増えにくい環境にあるが施設と連携しながら利用者を増やしていけるような行事企画に努めていく。				仕様書上の配置を遵守しながら適切に運営を行うことができた。 管理会社JMに依頼するかたちで館庭の土の補充を行うなど適切に管理業務を行うことができた。			
	【①に係る施設所管課の評価】	指定管理者の変更と館長交代という大きな体制変化の中で、円滑な引継ぎを図りつつ日常運営の安定化に努めている。一方、体制移行期における内部的な業務引継ぎや、利用者への対応の調整に一定の時間を要したことなどから、利用者数は前年度同時期比で29.1%減、併設する児童クラブも9.6%減となっており、この点は課題である。しかしながら、STEAMSレクとして「水の中でシャボン玉を作ろう」を実施するなど、子どもの興味関心を引き出す創意ある活動にも着手しており、今後の利用回復と事業の充実に向けた取組が期待される。	区分評価	B	ボルダリングの安全な運営やこども会議、親子教室、太鼓クラブ、幼児リトミックなど多様な事業を適切に実施している。特に、市内5館を運営する強みを活かし、職員の相互応援体制を構築することで安定した運営を実現している点は評価できる。また、ボルダリングについては職員が運営方法を十分に習得し、安全管理を徹底したうえで利用定着につなげている。さらに、幼児リトミックでは他館との連携により講師を確保し、指定管理者負担で利用者ニーズに応える事業を実施するなど、柔軟かつ積極的な運営が行われている。業務は概ね適切に履行されていると評価できるが、利用者数の減については課題が残る。	区分評価	B

区分	項目	令和7年度 前半期（4～9月期）				令和7年度 後半期（10～3月期）			
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
②サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】								
	窓口対応は適切に行われているか	A		A		A		A	
	アンケート結果等に基づき満足度向上に向けた取組がなされているか	A		A		A		S	利用者の要望を反映し、幼児リトミックを新たに実施している
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A	苦情の受付は無かった。	A		A	苦情の受付は無かった。	A	
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A	発生は無かったが、万が一に備え日頃から本部⇔施設間や市と連携しながら迅速に報告を行っている。	A		A	発生は無かったが、万が一に備え日頃から本部⇔施設間で連携に努めている。	A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A		A		A	
	モニタリングレポートの評価結果に基づき改善策を実施しているか	A	月次書類の提出方法の改善を図った。	A		A	月次書類の提出方法の改善を図った。	A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A		A		A	
	子どもへの性暴力に対する措置がとられているか	A	入社時に誓約書を提出いただくことに加え、疑わしき事案が発生した場合の対応フローも定めている。	A		A	入社時に誓約書を提出いただくことに加え、疑わしき事案が発生した場合の対応フローも定めている。	A	性加害発生時の対応マニュアルを整備し職員へ周知している
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】								
	クッキングなど食材扱う行事の実施時は検便を実施しているか	A	上半期は実施なし。	A		A	下半期も実施なし。	A	
	気になる子について適切に情報共有ができているか	A	現在のところ気になる子の来館は無い。	A		A	現在のところ気になる子の来館は無い。	A	施設長間の日誌共有や情報交換により、情報共有体制を構築している。
	事業者独自のサービス提供を行うなど、利用者の満足度向上に努めているか	A	工作・手芸の行事において利用者が作りたくなるような物の提案している。	A		S	講師を招へいしたバルーンショーや人形劇を開催	S	館間連携を活かした事業展開により、サービス向上に努めている
	職員の資質向上に努めているか	S	当社運営施設で発生したアクシデントを全職員に周知し「どうしたら未然に防げるか」ディスカッションを行っている。	A		S	毎月、様々な状況を想定した「ケース検討会」を実施しディスカッションを行うなど資質向上に努めている。	A	職員が設備運用を学び、安全管理能力の向上に努めている
	【②に係る指定管理者の自己評価】	大きな事故・トラブルもなく上期を終えることができた。 引き続き施設と密に連携を取りながら利用者が安心して利用できる環境づくりに努めていきます。				【②に係る指定管理者の自己評価】 外部団体を招へいしたバルーンショーや演劇会を開催するなど利用者満足向上に向けて取り組むことができた。 毎月実施しているケース検討会で安全配慮の知識向上を促し、それを非常勤職員へも共有している。施設全体での育成の質向上に努めることができている。			
	【②に係る施設所管課の評価】	不適切な育成の防止に向けて、育成室内へのスマートフォン持ち込みを会社方針として明確に禁止し、施設長会議での指示事項を3日以内に全スタッフへ周知するルールを徹底している。これにより、情報伝達の遅れや認識のばらつきを防ぎ、統一した対応が図られている。また、子どもへの性暴力防止の観点から、入社時に誓約書の提出を義務付けるとともに、疑わしい事案発生時の対応フローを整備しており、未然防止から初動対応までを見据えた体制が構築されている。		区分評価	A	【②に係る施設所管課の評価】 利用者アンケートの要望を踏まえて幼児リトミックを新たに実施したほか、市内5館合同の児童館まつりでは工作やゲームなど多彩なプログラムを展開し、児童や地域住民の交流機会を創出している。また、子どもへの性加害事案を想定した統一マニュアルを整備し、安全・安心な利用環境の確保にも努めている。特に、幼児リトミックについては、市内5館を運営する強みを活かして他館から講師を確保するとともに、指定管理者が講師料を負担して利用者ニーズを優先した事業を実施した点が高く評価できる。さらに、施設長同士の情報共有や運営ノウハウの活用によりサービスの向上が図られており、指定管理者交代に伴う課題はあったものの、全体として質の高いサービスが提供されていると評価できる。	区分評価	A
③サービス提供の安定性の確認	事業収支と収支計画書に大きな乖離はないか	A		A		A		A	
	必要な帳簿は備えられているか	A	経理部門で必要な帳簿を管理	A		A	経理部門で必要な帳簿を管理	A	
	経理処理は適正に行われているか	A	適切に処理をしている。	A		A	適切に処理をしている。	A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A		A		A	備品等の一括発注によりスケールメリットを活かしている
	団体の経営状況が的確に把握・分析されているか	A	消毒液等の一括購入でコストを削減している。	A		A	消毒液等の一括購入でコストを削減している。	A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		A		A	全国で多数の施設を運営しており安定した経営基盤を有する
	【③に係る指定管理者の自己評価】	特に問題なく推移している。				【③に係る指定管理者の自己評価】 特になし。			
	【③に係る施設所管課の評価】	事業収支と事業計画に大きな隔たりはなく、経理処理等も適正に実施されている。		区分評価	A	【③に係る施設所管課の評価】 衛生用品等の一括発注によりスケールメリットを活かした経費削減に取り組むとともに、全国で多数の施設を運営する法人として安定した運営基盤を有している。効率的な経費管理と豊富な運営実績に支えられた組織体制が確立されており、継続的かつ安定的なサービス提供が期待できる状況であると評価できる。	区分評価	A

【項目評価】

S（優　良）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。

A（良　好）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。

B（課題あり）：　協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。

C（要改善）　：　協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

S（優　良）　：　項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。

A（良　好）　：　項目評価が全てA以上。

B（課題あり）：　項目評価にBがある。

C（要改善）　：　項目評価にCがある。